

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 1 7 6 5 3
起案日	平成 1 6 年 2 月 2 6 日
特許庁審査官	佐藤 智康 9 0 5 9 5 L 0 0
特許出願人代理人	工藤 実 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・ 請求項 1 - 4
- ・ 引用文献等 1, 2
- ・ 備考

引用文献 1 には、入力された部品名が主記憶装置に未登録であるか否かを判定し、未登録である場合にはその部品名に新たな部品番号を自動的に付与して主記憶装置に登録する手段を有する採番装置が開示されており、前記「部品名」及び「部品番号」はそれぞれ、本願発明に係る「商品型番」「共通コード(JANコード)」にその性質上、相当するものと認められる。

引用文献 2 には、同一商品に対して対応する複数のいずれのコードを用いても商品管理を行うことが出来る発明が開示されている。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平 7 - 2 0 0 6 2 4 号公報

2. 特開平 6 - 2 5 9 4 4 2 号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・ 調査した分野 I P C 第 7 版 G06F17/60-19/00
DB名
- ・ 先行技術文献

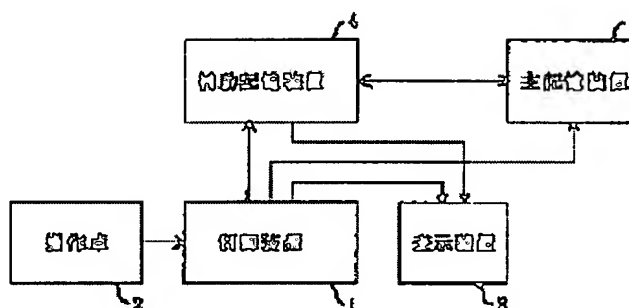
PARTS NUMBER COLLECTING DEVICE

Patent number: JP7200624
Publication date: 1995-08-04
Inventor: MONMA TOMOHARU; others: 03
Applicant: KAO CORP
Classification:
 - international: G06F17/30; G06F17/60
 - european:
Application number: JP19930338252 19931228
Priority number(s):

Abstract of JP7200624

PURPOSE: To provide a parts number collecting device which can improve its operability, can reduce its working manhour and reduce its operating mistakes by deciding whether the parts numbers are newly registered or not in order to collect and register them.

CONSTITUTION: A controller 1 inputs the parts names through a console 2 and then writes them into a parts list file of a main storage. The contents of this list file are collated with the contents of a parts number management file for decision of presence or absence of new parts. If the presence of new parts is decided, these parts numbers are automatically collected and registered on the parts number management file. If the absence of new parts is decided, the corresponding parts numbers are retrieved based on the contents of the parts number management file. Then the retrieving and collecting results of parts numbers are written into the parts list file. Then the parts list is stored in an auxiliary storage 4 and shown on a display device 3.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-200624

(43) 公開日 平成7年(1995)8月4日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/30

17/60

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

9194-5L

G 0 6 F 15/ 40

15/ 21

3 7 0 Z

Z

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平5-338252

(22) 出願日

平成5年(1993)12月28日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 発明者 門馬 智春

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社内

(72) 発明者 浅山 幹

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社内

(72) 発明者 江原 裕幸

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社内

(74) 代理人 弁理士 井出 直孝

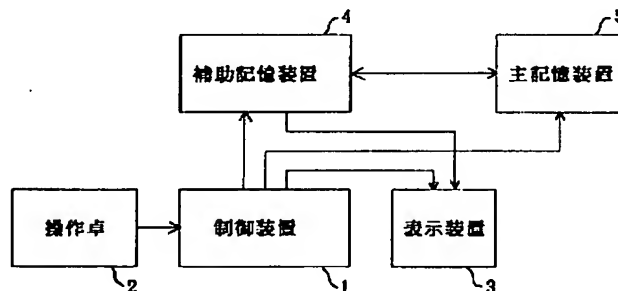
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 部品番号の採番装置

(57) 【要約】

【目的】 自動的に新規登録か否かを検索して採番し、かつ登録ができるから操作性を向上し、作業工数を少なくするとともに操作誤りを少なくできる。

【構成】 制御装置1は、操作卓2から部品名を入力し、部品一覧表ファイル6に書込む。部品一覧表ファイル6の内容と部品番号管理用ファイル7の内容とを照合し新規部品か否かを判定する。この判定結果が新規部品である場合に自動的に採番して部品番号管理用ファイル7に登録する。判定結果が新規部品でない場合には対応する部品番号を部品番号管理用ファイル7の内容から検索する。検索結果および採番結果を部品一覧表ファイル6に書込み、補助記憶装置4に部品一覧表を格納し、表示装置3により表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 部品番号および対応する部品名が多数登録された主記憶装置と、入力された部品番号に対応する部品名または入力された部品名に対応する部品番号を検索する手段とを備えた部品番号の採番装置において、入力された部品名が前記主記憶装置に未登録であるときその部品名に新たな部品番号を自動的に付与して前記主記憶装置に登録する手段を備えたことを特徴とする部品番号の採番装置。

【請求項 2】 入力された部品名が既に登録された部品名の一部であるとき該当する登録された部品名を全部表示する手段を含む請求項 1 記載の部品番号の採番装置。

【請求項 3】 入力された部品名が既に登録された部品名の一部であっても入力された部品名を新たな部品名として登録する手段を含む請求項 1 記載の部品番号の採番装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は製造工場の一つの製品の使用部品一覧表を作成するために利用する。本発明は、多数の部品が部品番号を付して既に登録されているとき、その多数の部品の中から必要な部品を抽出して一つの製品に固有の部品一覧表を作成する装置として利用する。本発明は、多数の部品名がそれぞれ部品番号と対応されて記憶装置に登録され、その記憶装置を検索して利用するコンピュータ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 製造工場の一つの製品を製造するために必要な部品を部品一覧表として作成する。その部品一覧表はその工場で定めた部品名と部品番号とを対応させて表示される。この部品一覧表をもとに各工程に必要な部品が手配される。

【0003】 ある製品を製造するために新規な部品が必要になったとすると、その新規な部品には新たな部品番号を付与して登録しなければならない。このための装置が採番装置である。採番装置として従来からコンピュータ装置が利用されている。

【0004】 従来の部品番号採番装置は、新規に番号を登録する際に、オペレータが一つの部品について新規登録するか否かを判断し、操作卓のキー操作により新規部品名を入力することにより採番操作を行う方式であった（電子帳票の文章番号自動採番方式、特開昭 62-168225 号公報）。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、このような従来の部品番号の採番装置では、新規な部品が現れてその部品について新規に番号を登録する場合に、オペレータがその部品がこれまで登録されていたか否かを調査の上判断し、新規登録の場合に操作卓のキーを操作して採番

していた。したがって登録の操作は能率が悪く不便な欠点があるとともに、操作誤りが発生する可能性があった。

【0006】 本発明は前記の欠点を解決するもので、自動的に新規登録か否かを検索して採番し、かつ登録ができる操作性を向上し、操作誤りの少ない部品番号の採番装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、部品番号および対応する部品名が多数登録された主記憶装置と、入力された部品番号に対応する部品名または入力された部品名に対応する部品番号を検索する手段とを備えた部品番号の採番装置において、入力された部品名が前記主記憶装置に未登録であるときその部品名に新たな部品番号を自動的に付与して前記主記憶装置に登録する手段を備えたことを特徴とする。

【0008】 また、本発明は、入力された部品名が既に登録された部品名の一部であるとき該当する登録された部品名を全部表示する手段を含むことができる。

【0009】 さらに、本発明は、入力された部品名が既に登録された部品名の一部であっても入力された部品名を新たな部品名として登録する手段を含むことができる。

【0010】

【作用】 本発明の装置では、操作卓から部品番号または部品名のいずれかを入力すると、主記憶装置にある部品番号管理用ファイルを検索し、対応する部品名または部品番号がわかると、これを部品一覧表ファイルの上に部品番号と部品名とを対応させて記入してゆく。そのとき、入力された部品名が主記憶装置の部品番号管理用ファイルに未だ登録されていない新規な部品であるときには、あらためてその新規な部品を主記憶装置に登録するための操作をすることなく自動的に登録が実行される。

【0011】 すなわち、操作卓から検索キーとして部品番号と部品名とのいずれかを入力して部品一覧表ファイルに書込み、この検索キーにより部品番号管理用ファイルの内容と照合し新規部品か否かを判定する。判定結果が照合不一致で新規部品である場合には、入力されている部品名に対して自動的に部品番号を採番して部品番号管理用ファイルにその部品名に対応させて登録し、採番した部品番号を部品一覧表ファイルに記入する。

【0012】 以上により自動的に新規登録か否かを検索して採番し、かつ登録ができる操作性を向上し、操作誤りを少なくできる。

【0013】 さらに本発明の装置では次のような機能がある。

【0014】 いま、部品番号が入力されその部品番号が未登録の番号であるとするとき、とりあえずその入力された部品番号を部品一覧表ファイルに記入し、次いでその部品番号に対応させる部品名として新規な部品名が入力

3

された場合には、はじめに入力された部品番号をその新規部品名の部品番号として登録する。

【0015】部品番号が入力されその部品番号が未登録の番号であるとする、と、とりあえずその入力された部品番号を部品一覧表ファイルに記入するが、次いでその部品番号に対応させる部品名として既に登録された部品名が入力された場合には、入力に誤りがあるものとして表示を行う。

【0016】

【実施例】本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0017】図1は本発明一実施例部品番号の採番装置のブロック構成図である。図1において、部品番号の採番装置は、部品番号および対応する部品名が多数登録された部品番号管理用ファイル7を含む主記憶装置5と、入力された部品番号に対応する部品名または入力された部品名に対応する部品番号を検索する手段とを備える。

【0018】ここで本発明の特徴とするところは、入力された部品名が主記憶装置5の部品番号管理用ファイル7に未登録であるときその部品名に新たな部品番号を自動的に付与して主記憶装置5の部品番号管理用ファイル7に登録する手段として制御装置1を備えたことにある。

【0019】また、入力された部品名が既に登録された部品名の一部であるとき該当する登録された部品名を全部表示する手段として制御装置1を含む。

【0020】すなわち、具体的には、主記憶装置5は部品番号および部品名を書込む検索用の部品一覧表ファイル6を含み、検索する手段として、操作卓2と、表示するための情報、検索キーの部品番号や登録する部品名を一時格納する補助記憶装置4と、部品一覧表を表示する表示装置3と、主記憶装置5、補助記憶装置4および表示装置3を制御して検索、登録および表示する制御装置1とを含む。

【0021】このような構成の部品番号の採番装置の動作について説明する。

【0022】図1において、制御装置1は、装置全体を制御してデータの検索処理や表示等を行う。操作卓2は、オペレータの操作により検索を行う部品番号や登録する部品名をマニュアルで制御装置1に入力する。表示装置3は入力値を確認したり検索結果を表示する。主記憶装置5は部品番号管理ファイルと部品一覧表ファイルを格納する。補助記憶装置4は表示装置3に表示する情報や検索キーとなる部品番号や登録する部品名を一時格納する。

【0023】図2は本発明の部品番号の採番装置の作表操作実行時の主記憶装置内の部品一覧ファイルと部品番号管理ファイル内のデータの遷移状態を示す図である。図2において、図2(a)はオペレータが入力操作を行う前の状態を示し、図2(b)はオペレータが部品一覧

4

表に入力を行った後の状態を示す。図2(c)は入力終了を合図に新規部品の判定を行って部品番号管理用ファイルに新規部品と判断された部品が追加された状態を示す。図2(d)は部品一覧表ファイルに対して新規採番された部品には部品番号が追加され、前回までに部品番号管理用ファイルに登録されていた部品には部品名が書き込まれた状態を示す。11、21、31、41は各状態における部品一覧表ファイル内のデータを示し、12、22、32、42は各状態における部品番号管理用ファイル内のデータを示す。

【0024】図3は本発明の部品番号の採番装置の制御装置の作表制御を示すフローチャートである。図1および図3において、制御装置1は、オペレータの操作により操作卓2から部品名を入力する(S31)。入力終了後に部品一覧表ファイル6に入力値を書込む(S32)。次に、部品番号管理用ファイル7の内容と照合して新規部品かどうかの判定をする(S33)。照合不一致で新規部品と判定された部品名については、自動採番し、部品番号管理用ファイル7へ登録する(S34)。部品名全体が照合一致で新規部品でない場合には(S35)、部品番号管理用ファイル7より部品番号の検索処理を行う(S35)。検索および新規登録が終了したら、部品一覧表ファイル6に検索結果と採番結果とを書込む(S36)。入力された部品名がすでに登録された部品名の一部でその一部と照合一致の場合には部品一覧表ファイル6の部品名の欄にその登録された部品名を書込み(S37)、ステップS35、S36の処理を行う。検索処理、新規採番処理が終了したら、部品一覧表を補助記憶装置4に格納し(S38)、部品一覧表を表示する(S39)。

【0025】図4は本発明他の部品番号の採番装置の制御装置の表制御を示すフローチャートである。この実施例ではブロック構成図は図3に示すブロック構成図と同様である。図1および図4において、制御装置1は、オペレータの操作により操作卓2から部品名を入力する(S41)。入力終了後に部品一覧表ファイル6に入力値を書込む(S42)。次に、部品番号管理用ファイル7の内容と照合して新規部品かどうかの判定をする(S43)。新規部品と判定された部品名については(ここでは、入力された部品名が登録されている部品名の一部であるときには新規部品と判定する)、自動採番し、部品番号管理用ファイル7へ登録する(S44)。新規部品でない場合には(S43)、部品番号管理用ファイル7の内容の検索処理を行う(S45)。検索および新規登録が終了したら、部品一覧表ファイル6に検索結果と採番結果とを書込む(S46)。すべての検索処理が終了したら、部品一覧表を補助記憶装置4に格納し(S47)、部品一覧表を表示する(S48)。

【0026】前述のように、本実施例では、部品番号管理用ファイルおよび部品一覧表ファイルが主記憶装置内

5

に格納されていたが、それぞれのファイルは補助記憶装置と接続された独立した複数の記憶装置内におかれてもよい。

【0027】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、自動的に新規登録か否かを検索して採番し、かつ登録ができるから操作性を向上し、作業工数を少なくするとともに操作誤りを少なくできる優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明一実施例部品番号の採番装置のブロック構成図。

【図2】本発明の部品番号の採番装置の作表実行時の主記憶装置の部品一覧表と部品番号管理用ファイル内のデ

6

ータの遷移状態を示す図。

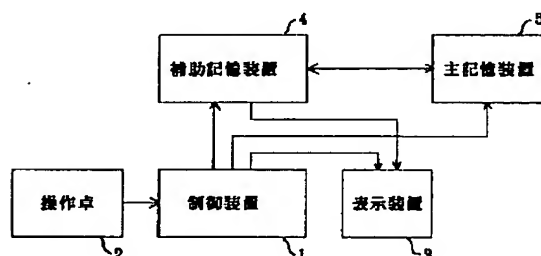
【図3】本発明の部品番号の採番装置の制御装置の作表制御を示すフローチャート。

【図4】本発明他の実施例部品番号の採番装置の制御装置の作表制御を示すフローチャート。

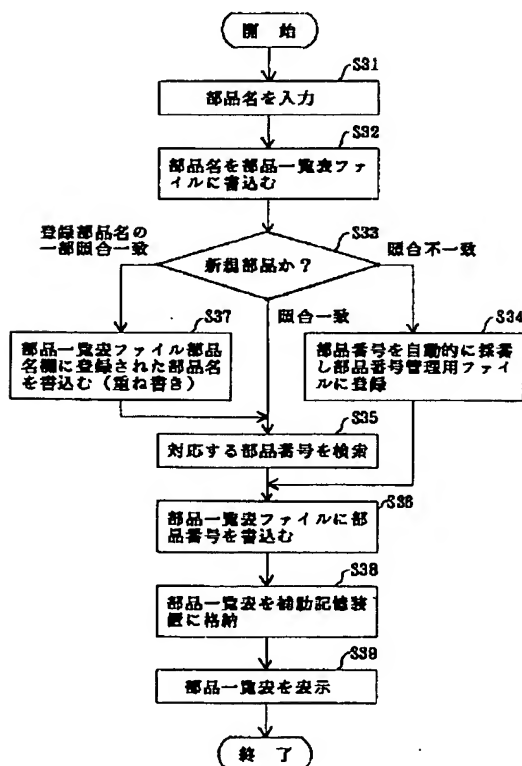
【符号の説明】

- 1 制御装置
- 2 操作卓
- 3 表示装置
- 4 補助記憶装置
- 5 主記憶装置
- 6 部品一覧表ファイル
- 7 部品番号管理用ファイル

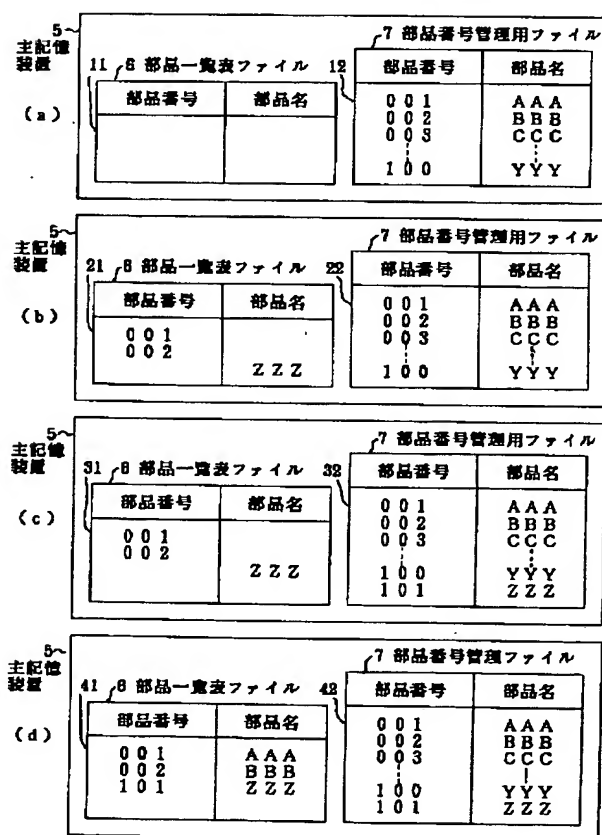
【図1】



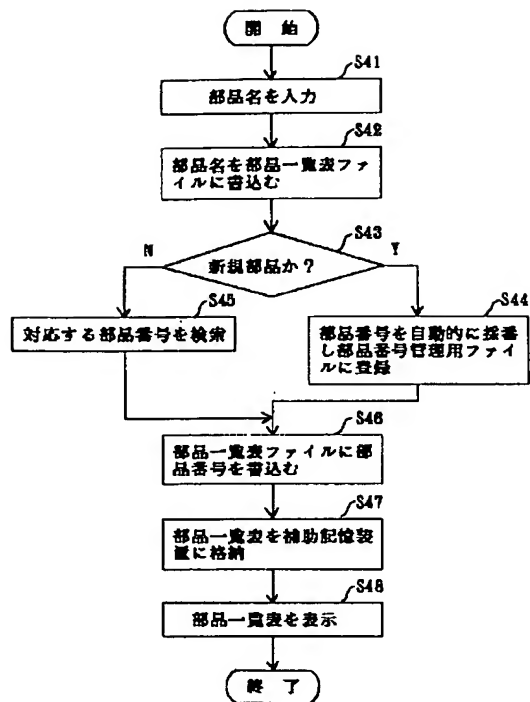
【図3】



【図2】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 笠原 謙一
東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会
社内